



2009年3月期第2四半期 決算説明会
決算概況および財務基本方針

株式会社カプコン
(東証・大証一部:9697)

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている経営戦略、計画や見通しなどは、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは大きく変動する場合があります。

また、当社を含め当業界は、ユーザーニーズの多様化など、市場環境の変化によっては業績が大きく振れる可能性があります。

業績等の変動要因としては、売上高の過半数を占める家庭用ゲームソフトのヒットの有無や販売本数の多寡、家庭用ゲームソフト開発の進捗状況、家庭用ゲーム機の普及動向、海外市場の売上状況、株価、為替動向、他社との開発、販売、業務提携、市場環境の変化などが挙げられます。

また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

< 目次 >

1. 連結損益計算書	・・・P2
2. セグメント別概況	・・・P5
3. 連結貸借対照表	・・・P8
4. 連結キャッシュフロー計算書	・・・P12

1 . 2009年3月期第2四半期 連結損益計算書

2009年3月期第2四半期 連結決算概況

2007/9実績 対 2008/9実績

(単位:百万円)

	2007/9	2008/9	増減
売上高	31,108	31,236	128
営業利益	3,058	3,357	299
経常利益	3,395	4,115	720
中間純利益	1,603	1,873	270

売上、利益ともに全項目で前期比を上回った

受取利息(4億円)、および為替差益(5億円)の発生により、経常利益は前年同期に比べ大幅に増加した

2009年3月期第2四半期 連結決算概況

2008/9計画 対 2008/9実績

(単位:百万円)

	2008/9Plan	2008/9	増減
売上高	34,700	31,236	-3,464
営業利益	3,300	3,357	57
経常利益	3,400	4,115	715
中間純利益	1,800	1,873	73

利益では全ての項目で計画を上回った

P&S事業での大幅な売上減が起因し、売上高は計画未達となった

コンシューマ用ゲームソフト事業のリピート販売好調により、
営業利益に貢献

2 . 2009年3月期第2四半期 セグメント別概況

2009年3月期第2四半期 セグメント別概況

事業セグメント概況 2007/9実績 対 2008/9実績

(単位:百万円)

	2007/9	2008/9	増減
コンシューマ用 ゲームソフト	16,323	16,486	163
アミューズメント施設運営	6,375	6,847	472
業務用機器販売	1,377	4,079	2,702
コンテンツエキスパンション	5,644	2,547	-3,097
その他	1,411	1,283	-128
合計	31,108	31,236	128

- ・ 詳細は、「事業セグメント別概況および戦略」に記載

2009年3月期第2四半期 セグメント別概況

地域セグメント概況 2007/9実績 対 2008/9実績

(単位:百万円)

		2007/9	2008/9	増減
日本	売上高	23,766	26,389	2,623
	営業利益	4,515	5,529	1,014
	営業利益率	19.0%	21.0%	-
北米	売上高	4,554	4,366	-188
	営業利益	56	-228	-284
	営業利益率	1.2%	-	-
欧州	売上高	2,529	2,183	-346
	営業利益	191	20	-171
	営業利益率	7.6%	0.9%	-

- ・日本 コンシューマ用ゲームソフト事業のリピート販売が全体を牽引
- ・北米 新作タイトルに恵まれず、出荷本数が伸び悩み赤字を計上(下期偏重計画)
- ・欧州 北米同様に新作の大型タイトルの発売がなく、売上、利益ともに縮小

3. 2009年3月期第2四半期 連結貸借対照表

2009年3月期第2四半期 連結貸借対照表

貸借対照表 2008/3末時点 対 2008/9末時点

(単位:百万円)

	2008/3	2008/9	増減
流動資産	62,505	61,904	-601
固定資産	31,101	30,842	-259
資産合計	93,606	92,747	-859
流動負債	34,818	30,892	-3,926
固定負債	5,128	6,074	946
負債合計	39,946	36,967	-2,979
純資産合計	53,660	55,779	2,119
負債純資産合計	93,606	92,747	-859

2009年3月期第2四半期 連結貸借対照表のポイント

貸借対照表 資産の部 主要変動項目

(単位:百万円)

	2008/3	2008/9	増減
受取手形および売掛金	14,182	5,514	-8,668
仕掛品	774	2,635	1,861
ゲームソフト仕掛品	6,241	11,559	5,318

(1) 受取手形および売掛金

前期発売タイトル『モンスターハンターポータブル 2nd G』などの
売掛金が回収されたことで減少

(2) 仕掛品

P&S事業などで使用する部材により増加

(3) ゲームソフト仕掛品

下期発売の大型タイトルの開発が進行しているため大幅に増加

2009年3月期第2四半期 連結貸借対照表のポイント

貸借対照表 負債の部 主要変動項目

(単位:百万円)

	2008/3	2008/9	増減
短期借入金	2,015	773	-1,242
流動負債 その他	7,147	6,197	-950
長期借入金	1,470	2,422	952

(4) 短期借入金

短期借入金の返済により減少

(5) 流動負債 その他

未払い金等の支払いにより減少

(6) 長期借入金

新たな借り入れにより増加

4 . 2009年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2009年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007/9	2008/9	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	203	2,722	2,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,276	-1,820	-544
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,205	-1,440	-235

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益の計上に加え、売上債権の減少(8,828百万円)や、たな卸資産の増加額(-2,497百万円)、およびゲームソフト仕掛品の増加(-5,155百万円)によるもの

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出(-1,321百万円)によるもの

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金による収入(1,400百万円)、および長期借入金の返済による支出(-1,757百万円)によるもの

5. 財務活動の基本方針

財務活動の基本方針

企業価値の最大化を目指すため、

(1) 事業投資に必要な資金の確保

既存事業拡大への投資・新規プロジェクト投資など、リターンを生み出す事業への投資に必要な資金を確保、維持

(2) 流動性の維持

機動的な資金調達を可能とするため、コミットメントライン枠を維持し、流動性を補完(未使用残高150億円)

(3) 事業・財務活動成果の配分

リターンを生み出す事業への再投資など

事業利益による自己資本の着実な積み上げなどにより、財務体質を継続的に改善

株主還元の検討



CAPCOM